



編集・発行 熊本県立菊池農業高等学校同窓会事務局 TEL 0968-38-2621 題字：越猪忠祐 (元同窓会会長) https://sh.higo.ed.jp/kikuno/ 印刷 株式会社 かもめ印刷

母校創立百二十周年 ともに歩み続ける緑水会!

熊本県立菊池農業高等学校同窓会 緑水会会長 松永幸久



「感動、感謝、思いやり、夢を育み未来を創る菊農生」～あらゆる可能性を見つめ一歩前進へ～。ご存じのとおり本校のスローガンです。

昨年九月二日、熊本日日新聞でこんな投稿記事を見かけました。「高齢者介抱 菊池農高生に感動」熊本電鉄のとある駅で杖を持つ高齢者が転んだところを高校生の男女がすぐに駆け寄って、杖を拾い肩を貸して助け、その高齢者を日陰のベンチに座らせ介抱。女子生徒が恐らくは自身の小遣いからでしょう自動販売機でお茶を買い飲ませてあげていました。それが「ごく自然な振舞い」だったと。そして、制服から菊池農業高校の生徒さんだったと分かった。という記事です。この記事を読んだとき、少し大袈裟ですが、本校の卒業生として誇らしく、そして少しの感動を覚えたこと、記憶しております。特に「ごく自然な振舞い」と記されていたところに感動しま

ました。まさしく本校のスローガンにある「思いやり」の気持ちだなど。普段の学校生活から育まれたものではあるまいか。先生と保護者の方々の一体となった地道な教育活動の賜物ではあるまいか。そう思っております。

少し前置きが長くなりましたが、緑水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと衷心よりお慶び申し上げます。また、平成三十一年三月会長就任以来、コロナ禍のなかで同窓会活動が会員皆様や関係各位のお陰を持ちまして継続できておりますこと、ここに改めて深く御礼申し上げます。

さて、三年前の新型コロナウイルス感染症の発生から変異を繰り返しながら、収束に至らず今日に至っております。

三年を経過した今、これに対応した取り組みが各分野で随分浸透しております。教育現場でもしかりです。研究授業や公開授業の機会が少なかったことやタブレット上での授業についていけない生徒さんもおられるようで課題もあるようですが、分散登校やオンライン学習が定着しつつあると聞きしております。

難しい環境の中にあつて、この取り組みのように試行錯誤しながら臨機応変に対応していくことが人を強くし成長に繋がるのではないかと考えます。

昨年からのロシアのウクライナ侵攻で原材料が高騰し日本の農業経営に影響を与え、海外からの農産物が入ってこず、日本の食料問題も改めて浮彫となりました。足腰の強い農業経営、自給率の向上など日本の農業は、益々重要度を増しております。

これら農業を取り巻く課題を解決に導くのは、やはりこれからを担う若い力です。その基礎を作り育てていくのが学校での教育であり、私も卒業生の責任でもあると思っております。

本年は、本校創立百二十周年を迎えます。明治、大正、昭和、平成、令和という長い歴史の中で幾度の戦争や災害という苦難の道を経て、百二十年という節目を迎えます。

そこには、数多くの先輩たちの支えがあつての歳月であると思えます。お一人おひとりの精神が刻み込まれた思いを次の世代、次の世代へと未来永劫、繋いで行くことがこの緑水会の役割でもあると改めて思ったところです。

本年は、この創立記念式典を催す予定にしております。会員の皆様には、大変ご面倒をお掛けしますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後にありますが、緑水会会員皆様のご多幸を心から祈念いたしまして、ご挨拶いたします。

創立百二十周年に向けて さらなる歩みを

校長 石川 正



穏やかな日ざしにいつしか春の訪れを感じる季節となりました。緑水会の皆様におかれましてはますますご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。また、本校教育活動に對しまして、平素よりご支援とご協力を賜っておりますことに学校を代表して深く感謝申し上げます。菊池農業高校におきましても新型コロナウイルス感染症防止に取り組み三年目となります。本来なら緑水会会員の皆様を学校にお招きして、教育活動をご観覧いただきたいところではありますが、生徒の感染防止を最優先して学校の安全安心に取り組みでまいりましたのでご理解いただければと思っております。生徒にとりましても高校時代は取り返すことのできない大切な時間であり、いかにして高校生活を充実したものにしていくかが私たちの職責でもあります。今後もコロナ禍の中でも感染防止を徹底して、生徒の教育活動を低迷させることなく生徒が主体的に活動で

きる菊池農業高校を創り上げていきたいと思ひます。

そのような中、生徒たちは自らの目標を掲げ充実した高校生活を送っています。その一部を紹介させていただきます。授業では、昨年度より一人一台のタブレットを活用して、思考力、判断力、表現力を授業の中で身に付けています。オンライン授業やリモート授業を活用して理解度や授業の内容が深まりました。部活動においては、コロナ禍の影響で練習も制限されましたが、馬術部が二年連続のインターハイ出場、囲碁部も九州大会・全国大会へと出場することが出来ました。また、農業クラブの農業鑑定競技大会において県大会の予選を通過して二名が全国大会に進み、優秀な成績を収めることが出来ました。本年は熊本県の地である第七十四回学校農業クラブ全国大会熊本大会が開催されます。本校は家畜審査競技会(肉牛の部・乳牛の部)二部門を担当します。そのため多くの生徒が準備のため取り組んでいるところです。さらに昨年は二日間の菊農フェスタが三年ぶりに開催され、生徒たちが主体的意欲的に取り組み、文化的行事や農産物販売会など盛大に行われました。その他多くの生徒が様々

な活動を行ってきましたが、紙面の関係上記載することが出来ません。ご了承ください。結びに、緑水会員の皆様のますますのご活躍とご健勝を祈念しますとともに、本年は本校が創立百二十周年を迎えます。本校が農業高校として、地域と共に歩み、地域に愛され、地域から必要とされる学校をさらに目指していきたいと思っておりますので今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

ご存知ですか? 校章の横線二本は菊池農蚕高等学校と菊池西農業高等学校の両高校統合と所在地菊池の「キ」を図案化したものであり、縦線は農業のシンボルである米と藁の形を合せ示したもので、下部に「菊池」の「菊」の花を配し、全体的には末広がりの形で、本校永遠の発展を象徴したものである。(創立50周年記念誌より)



「製菓実習」食品化学科



資格取得「高所作業車」



実習風景「大家畜・乳牛の体重測定中」畜産科学科



「花盛りのハウス」生活文化科



「実習風景」園芸科



ICT活用授業「一人一台のタブレットで検索中」



「浴衣製作」生活文化科



体育大会「選手宣誓」

◆令和4年度 会務報告◆

- 2/3 上田農業賞表彰 松岡昭彦氏 パインヒル牧場(菊池市旭志) 役員会
2/14 令和3年度緑水会「総会」案内の送付(各理事)
2/28 同窓会(緑水会)入会式
2/28 令和3年度 会計監査
2/28 令和3年度「総会」中止決定
3/1 第58回卒業式(新型コロナウイルス感染防止のため来賓不在)
3/2 令和3年度緑水会「総会」中止連絡及び書面決議書の送付(各理事)(議案決議は書面による審議で行う)
3/18 緑水会「総会」書面決議確認(新型コロナウイルス感染防止のため松永会長、事務局で書面決議確認)
4/11 令和4年度入学式(新型コロナウイルス感染防止のため来賓不在)
6/7 役員会開催
・緑水会令和3年度総会「書面表決」の結果報告
・今年度の行事等について
・臨時総会8/12(金)、ゴルフ大会8/26(火)開催を決定
・120周年行事について
記念式典期日について その他(有友会バス売却について)
7/19 コロナウイルス感染症拡大(第7波)のため、臨時総会及びゴルフ大会延期決定
11/18 熊本県高校同窓会連絡協議会定例会 感染拡大のため欠席
11/22 役員会開催
12/9 令和5年度農業クラブ全国大会協賛原稿案(農場長)
12/15 臨時役員会開催 120周年記念行事について 日程・役員・予算その他

【新型コロナウイルス感染防止のため延期または中止した行事等】
役員会「総会」
緑水会ゴルフ大会
第11回グラウンドゴルフ大会
菊農フェスタバザー

私は、家業の畜産経営を引き継ぐため、菊池農業高校で畜産に関する知識を学び、卒業後平成三十三年四月に親元に就農した。
就農後二年間は自ら酪農の搾乳作業に携りながら、空いた時間を活用して飼養管理の技術向上と酪農経営に必要な考え方を学ぶため、個人経営の酪農ヘルパーに積極的に同行した。これは特定の酪農家で研修するより、様々な酪農家を見る事が出来るヘルパーの方が良い経験になると考えたからだ。この経験からミルキングパーラー体系を軸に自らの目標に向けた理想の牛舎を作るために、搾乳牛舎

の構造、増頭等について綿密な計画を立てた。
平成二十年に経営を担当する事となり、当時乳肉複合の経営スタイルであったが、酪農一本に絞って経営していきたいと思い、肥育部門を撤退し、乳用牛の増頭や牛舎建設、資金計画を実行し、平成二十二年には現在の敷地に搾乳牛舎を建設した。
新牛舎稼働に伴い、三十頭の搾乳牛を導入し、また自家育成にも力を入れ、翌年には搾乳牛百頭まで規模拡大した。しかし、拡大直後、繋ぎ牛舎にいた搾乳牛は、自ら搾乳場や給餌スペースに移動するフリーストール牛舎に慣れず、エサを食べない事で個体乳量が減少した。牛舎建設費用の返済もあり、仕方なく経産牛を販売して資金確保をしたりと悪循環が続き経営が悪化していった。

改善に向けた取組として、元々繁殖成績は悪くなかったため、自家育成によるフリーストール牛舎に合う牛への改良と飼料設計の見直しを行うことで搾乳牛の採食量も回復し、個体乳量が伸びた事で、経営は徐々に回復していった。また、平成二十六年に畜産クラスター

最後に、昨今の酪農情勢は大変厳しい状況となっております。毎日試行錯誤しながら過ごしています。ただ、こんな時だからこそ地域で団結し、乗り切っていきたいと思っています。
そして、皆様が飲んで下さるそのコップ一杯の牛乳が私達を救ってくれます。どうかお願い申し上げます。結びとさせていただきます。



森本秀昭



このままを振り返ると、経営を引き継いだ時点では、雇用する余裕も無く、私は働き詰めの日々で目の前の事しか取り組む事が出来なかった。しかし当時から人と時間を上手に使うことが一番重要であると考えており、将来は規模拡大と雇用により経営に余裕が出来るようにしたいと考えていた。現在はスポット的に働く短時間の雇用を行う事で、労力に幅と余裕が得ており、人件費も削減出来ている事から、結果的に収益性向上とゆとりのある生活ができ、思い描いた経営となっている。

事務局長よりご挨拶
緑水会員の皆様方には、日頃から母校発展のためご支援・ご協力いただき誠にありがとうございます。
本年度より事務局担当となりました。畜産科学科職員の森本秀昭(昭和六十三年度食品化学科卒)です。伝統ある菊池農業高校の緑水会事務局を引き継ぎ、身が引き締まる思いです。会員の皆様のご協力を仰ぎながら、より良い同窓会の運営ができればと思います。

次世代のゆとりある酪農経営を目指して

有限会社 パインヒル 松岡 明彦 (畜産科学科 平成11年度卒)



菊農フェスタ「農産物販売会」農業科

Table with columns: 校種, 大学名, 学部, R2, R3, R4. Lists graduation statistics for various universities and departments.

Table with columns: 校種, 大学名, 学部, R2, R3, R4. Lists graduation statistics for various universities and departments.

Table with columns: 校種, 企業名, R2, R3, R4. Lists job placement statistics for graduates from various departments.

Table with columns: 校種, 企業名, R2, R3, R4. Lists job placement statistics for graduates from various departments.